

## 中部ニュービジネス協議会（CNB） 新型コロナウイルス感染拡大の影響に関するアンケート調査結果

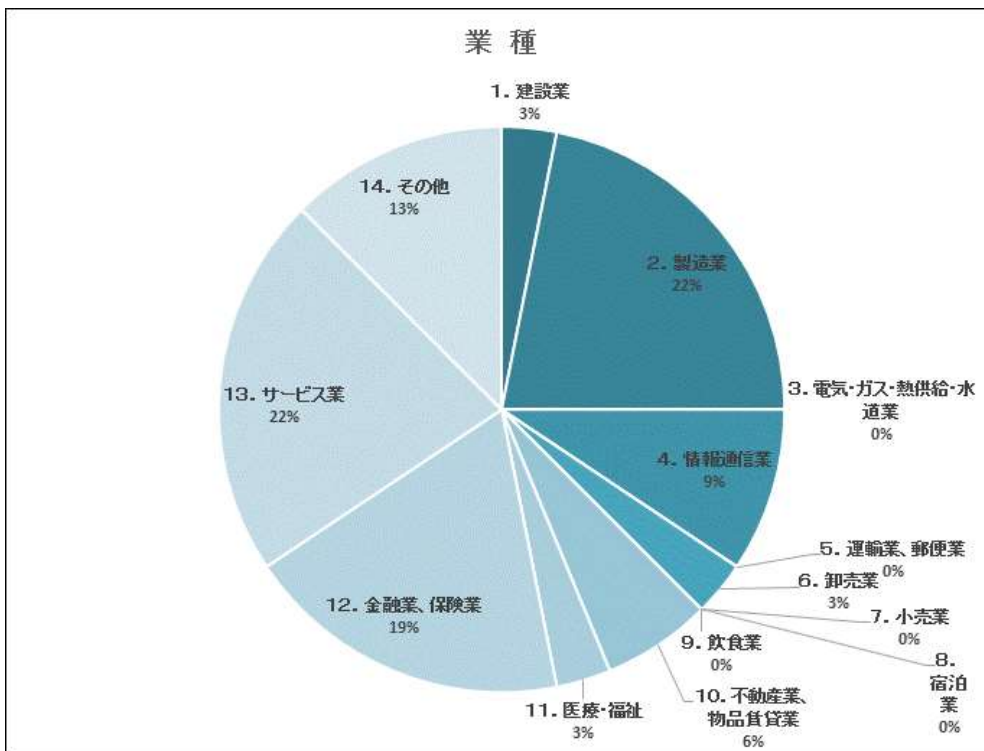
新型コロナウイルス感染症の経済に与える影響の長期化が懸念される中、会員の皆さまへの影響や課題等を把握させていただくためのアンケート調査を実施させていただきました。その結果を下記のとおりご報告いたします。本調査結果は、今後のCNBの活動や取り組みに活かしてまいります。

調査にご協力いただきました会員の皆様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

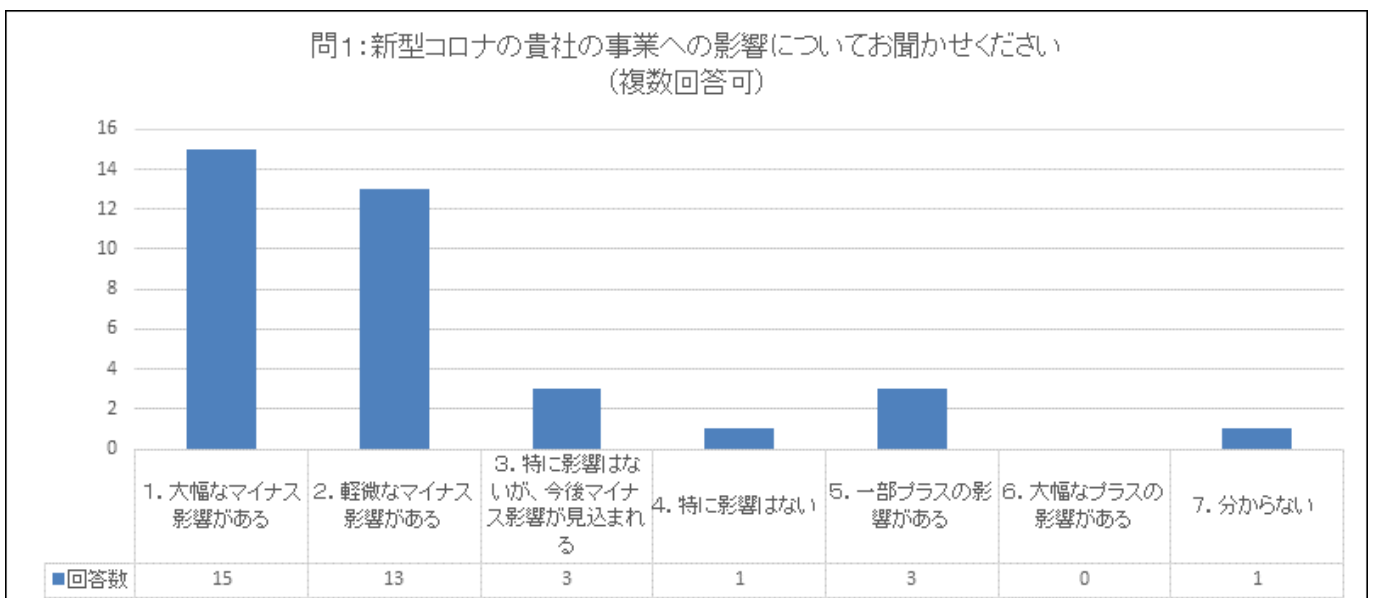
対 象：中部ニュービジネス協議会 会員

調査期間：令和2年7月1日（水）～7月17日（金）

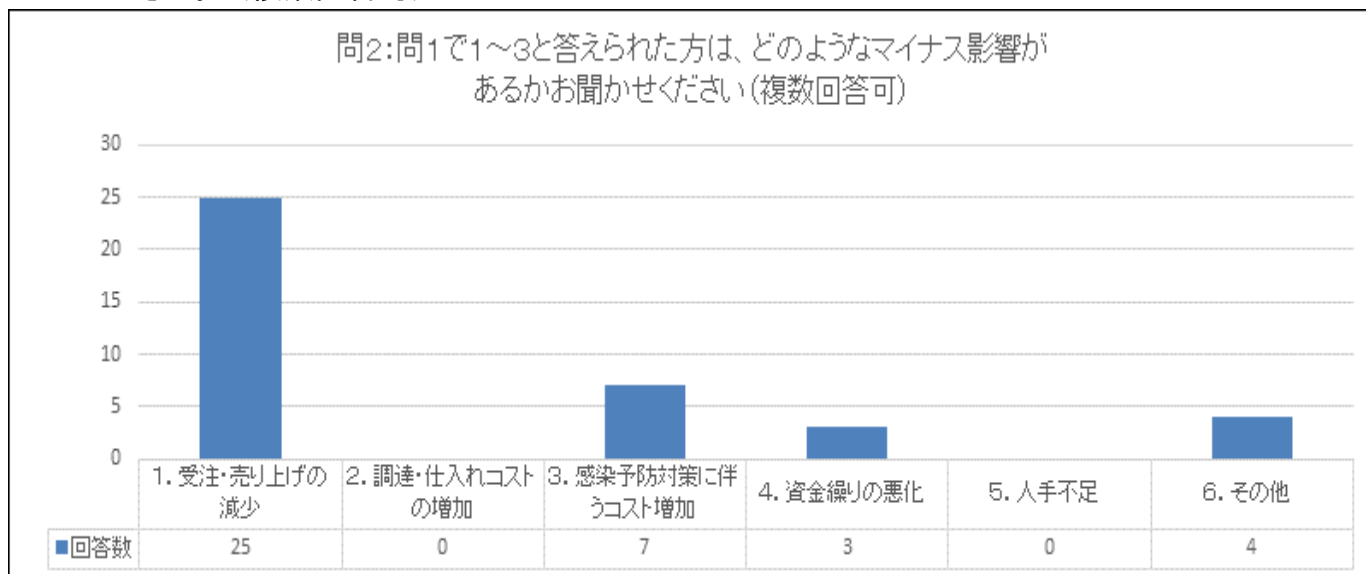
回答数：32件



問1:新型コロナウイルスの貴社の事業への影響についてお聞かせください(複数回答可)。



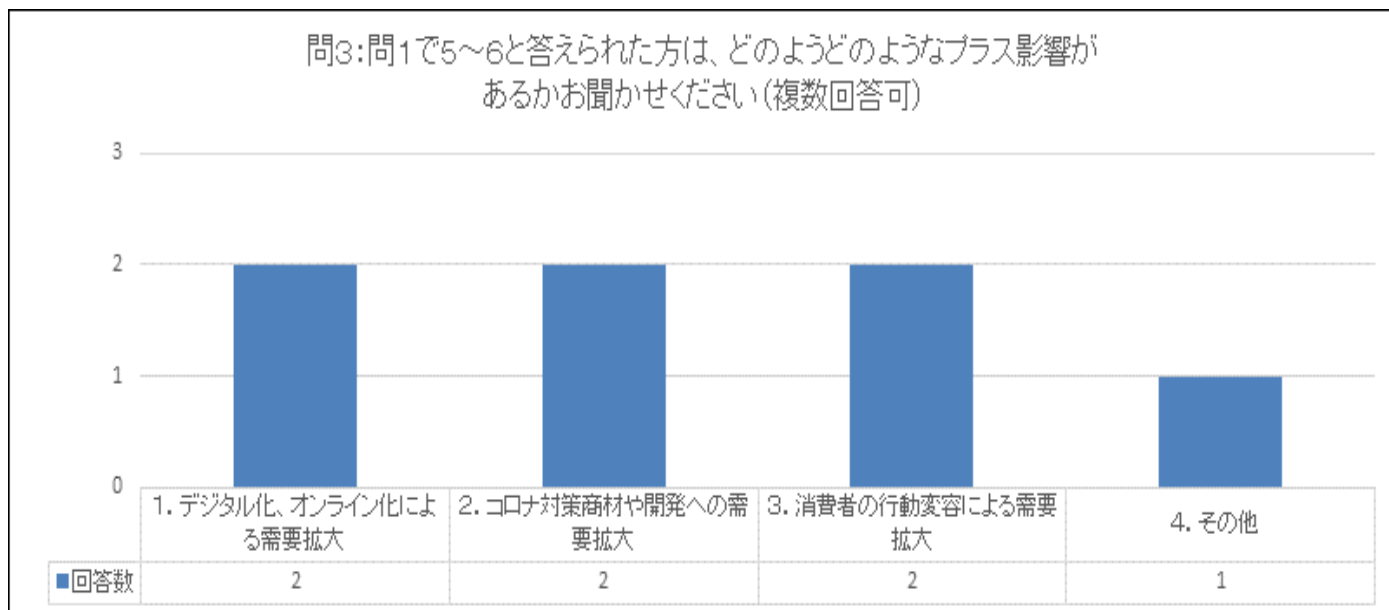
問2:上記「問1」で①～③と答えられた方は、どのようなマイナス影響があるか(見込まれるか)お聞かせください。(複数回答可)



上記について詳しくお聞かせください

- ・イベント・会議等の自粛のため(回答:1)
- ・取引先企業の収益悪化、営業の滞り(回答:1・3)
- ・会社資産の減少(回答:1)
- ・賃貸収入の減少の見込み(回答:1)
- ・企業の広告費抑制による主力事業の減収(回答:1・3)
- ・イベントの中止(回答:1)
- ・介護事業に対して大きな影響があります。営業自粛、ご利用者数抑制で売上が減り、マスクや消毒液などの調達価格が上がり、こまめな消毒作業などスタッフの肉体的および精神的な負担も増えました。(回答:1・3・4)
- ・お客さまの業績悪化による与信コスト増(回答:3・6)
- ・お客様からの解約の申し出や、新規顧客の開拓ができない状況がある(回答:1)
- ・顧客群の製造業でマイナス(回答:1)
- ・貸倒引当金の増加、取引先の減少の懸念(回答:6)
- ・システム販売に於いて顧客の替え控えによる受注減少が起きています。ワクチン等の開発が見通せないので回復も望めていません。(回答:1・4)
- ・顧客サービスとして実施している各種イベント、及び対面フォローが実施できないなど、顧客サポートの低下が見込まれている。(回答:6)
- ・自粛で来店者数が激減したが通販が伸びた為に軽微なマイナスとなった。今後もオンラインの活用を増やす。(回答:1)

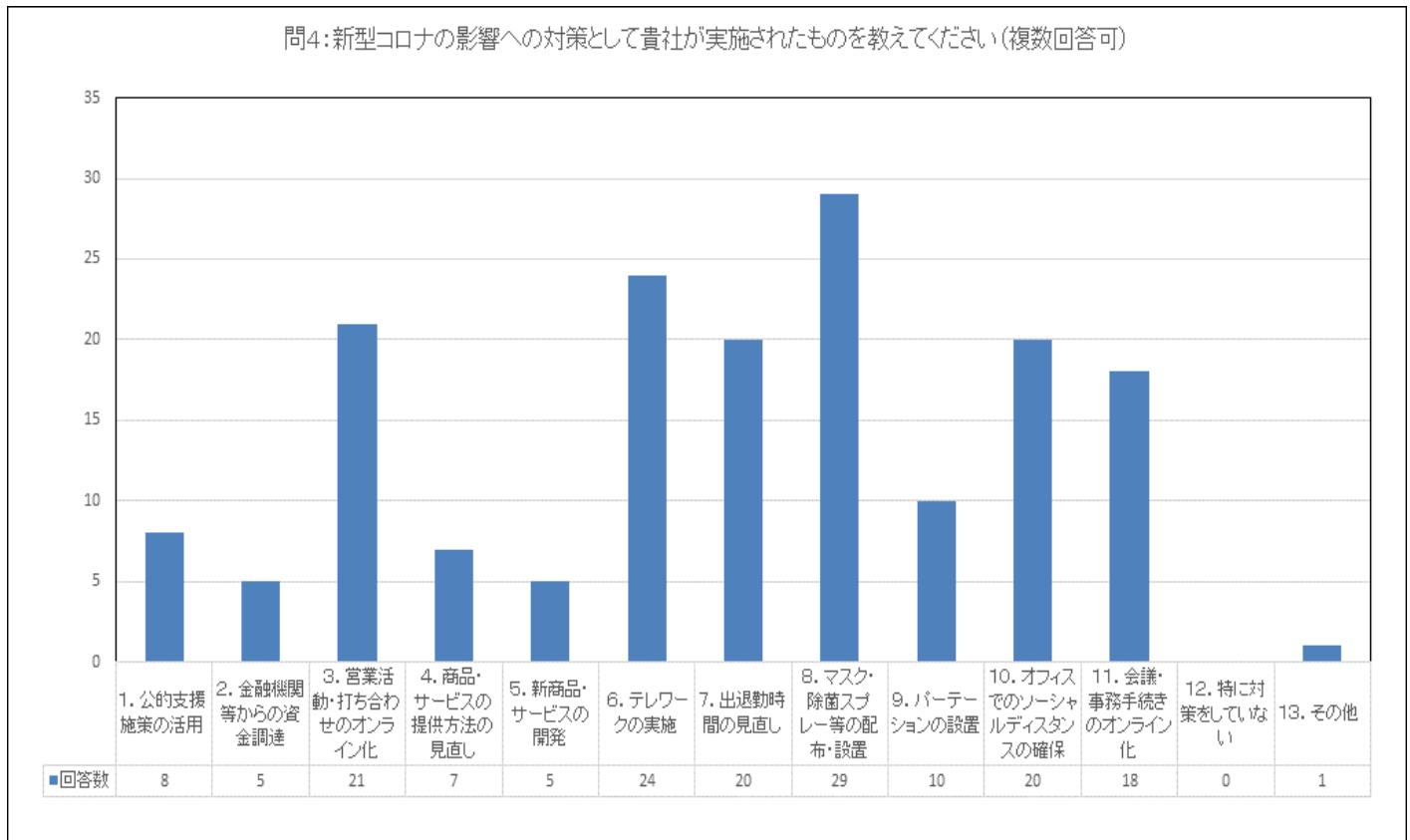
問3:上記「問1」で⑤、⑥と答えられた方は、どのようなプラス影響があるかお聞かせください。  
(複数回答可)



上記について詳しくお聞かせください

- ・外出自粛による在宅消費利用意識における購買手法の変化によるもの(回答:3)
- ・ライブ配信の増加(回答:1・2)
- ・顧客群のサービスやIT業界で一部プラス(回答:1・2・3)

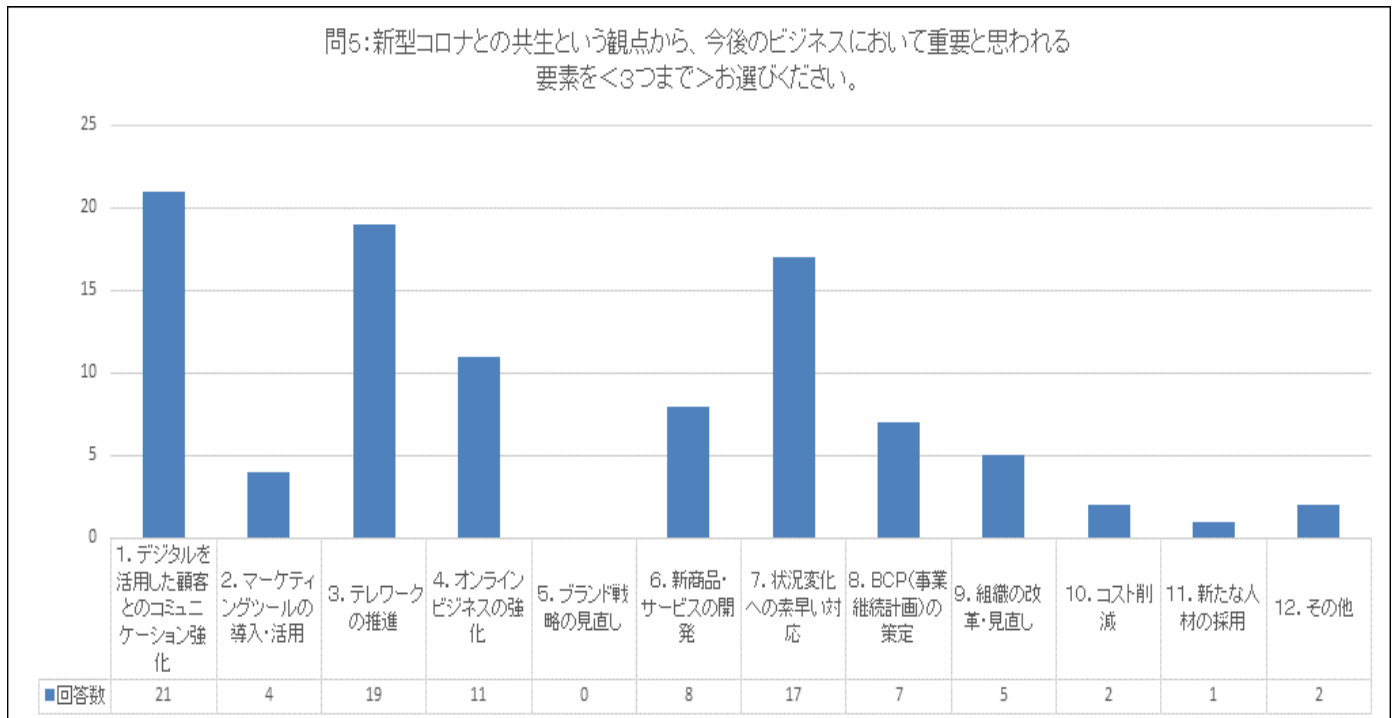
問4： 新型コロナの影響への対策として貴社が実施されたものを教えてください。（複数回答可）



上記の具体的なお取り組みの内容、効果、課題等についてお聞かせお聞かせください

- ・時差出勤については、電車内での密を避けた(回答:7・8)
- ・不必要な会議の縮小、役員報酬の削減(回答:8・10)
- ・在宅ワーク、時差出勤導入など(回答:3・5・6・7・8・11)
- ・新しいサービスのニーズは高まっている(回答:3・4・5・6・7・8・11)
- ・デイサービス施設は大部屋で集団で介護することが前提の制度設計になっているため、感染対策を徹底したとしても感染リスクが極めて高い業態なので、かなり厳しい状況です。
- ・with コロナにおける働き方は、行政・監督機関等の指導に沿って色々に対応を実施しており、社内感染防止には一定の効果があるものと理解。課題は次の2つと認識。①職務内容が大きく異なることから、本部と営業店のテレワーク導入レベルが異なり、摩擦が生じていること。②急遽リモート・テレワークを実践しているが、組織全体としての働き方の確立には至っていないこと。(回答:1・2・3・7・8・11)
- ・選んだ項目程度の内容で、取り立てて他に説明するものではありません。(回答:1・3・6・7・8・11)
- ・リモート業務実施により、コロナ前と同等の成果を創出(回答:3・6・7・8・9・10・11)
- ・緊急事態宣言時はテレワーク、時差出勤等行われていたが、現在通常体制に戻り、上層部の意識は新しい働き方に関心が低い(回答:4・8・10)
- ・テレワークが出来る仕事の種類が限定されているため、今後のことを考え、BCPの一環としてセキュリティを確保しながら、テレワークが出来る体制の構築について検討する必要がある。(回答:3・6・7・8・10)
- ・コロナ対策の環境作りを徹底しオンラインでの業務が増えた。スタッフでの感染者もなく業務もオンラインで効率化が図れた。(回答:3・4・5・6・7・8・9・10・11)
- ・導入当初は操作方法などに戸惑いはあったが今では根付いており、テレワークは働き方改革の一環としてコロナ後も常態化する見通し。(回答:3・6・7・8・10・11)

問5：新型コロナとの共生という観点から、今後のビジネスにおいて重要と思われる要素を<3つまで>お選びください。



上記の理由についてお聞かせください

- ・リモートができる体制を考えているため(回答:3. 4. 7)
- ・しばらく影響が続くことが見込まれるため(回答:6. 9)
- ・人との不要な接触を意識的に避ける事や、在宅における過ごし方の変化が起きると考えられるため(回答:3. 4. 6)
- ・ツールや形態の変化への対応もさることながら、コロナ前・コロナ後で変化した「人々の心」を見極め、対応することが重要と考えます。(回答:3. 6. 7)
- ・拡販のチャンスだから(回答:1. 6. 7)
- ・消毒の徹底、換気の徹底、体調管理の徹底(回答:12)
- ・世の中の当たり前が急激に変化している中、「新常識」に素早く合わせることは極めて重要。その点では1. が新常識となる可能性はあり、お客さまとの接点の持ち方が抜本的に変わった場合の効果的なコミュニケーション方法が重要となると思う。(回答:1. 3. 7)
- ・新しい常識に対応していかなければならないことに尽きる(回答:1. 3. 4. 6. 7. 8. 9. 10. 11)
- ・社員とその家族の安全が第一、次に事業継続が重要。(回答:1・3・8)
- ・リモート対応と意識変容が必要(回答:1・3・9)
- ・新型コロナウイルスの治療薬等の見通せない状況では、顧客も直接交渉の場を持たないため。(回答:1・2・3・4)
- ・現状はあくまでイレギュラーな状況であるが、この状況がある程度続く場合においては、従来の顧客サポートの代替手段として、オンラインを活用したサポートの実施を検討する必要があると考えている。(回答:1・3・4)
- ・営業活動の変化(回答:1・3・4)
- ・共生していく中で働き方改革の視点からテレワークを実施し業務改革を行う。営業形態は出張型からオンラインでのコンサルに移行している。(回答:1・3・7)
- ・1.と3.については仕入先／顧客／パートナーを問わず相手側が強化・推進する中で自社が対応しないとするとそれが弱点になる。8.についてはBCPに「パンデミック」を入れ込んでいない企業が多かったのではないかと。(回答:1・3・8)

問6:新型コロナに関連し、お困りごとや、CNBへのご要望等、自由にご記入ください。

- ・講演会等を、Webで聴講できると、ありがたいです。
- ・業態として新型コロナと共生することが難しい印象があるため、困ってはいるものの、特に要望はありません。
- ・既に実施されていると思いますが、給付金等の情報の開示を望みます。
- ・オンライン会議やテレワークが続くと日々のコミュニケーション不足が生じてしまいます。オンライン活用など自身のスキルアップが必要になる。

問7:今後のCNBの活動へのご希望や希望する講演会・セミナーのテーマ等ご自由にご記入ください。

- ・コロナ発生後の新事業機会について
- ・テーマ等は、いつも、興味深いものを実施していただき、満足しております。
- ・事業戦略関連の講演やセミナー
- ・製造業の人たちが興味を持ち、且つ、愛知県の人ではなかなか語れないような話、世界で特徴的な戦略、成長を遂げている会社の話を聴けるといいと思います。(テスラの戦略、ZOOMの戦略、Appleの戦略、Googleの戦略、企業と大学の海外での連携事例、橋下徹さんの話)
- ・オンラインでの開催希望
- ・世界におけるワクチン開発状況の共有”